

食品ロスを減らす 取り組みを 区民参加で



食べられるのに捨ててしまう食品を減らす区民運動を区民の参画で案を作り、実施するべき。区内で活動を展開している団体である、困っている人へ食品を届けるフードバンクとの連携を模索したらどうか。

答：もったいない事業を開始、普及啓発活動等実施していく。フードバンク活動を注視していく。

せの：区民が活動計画を立案することに参画することが大切なのに、それができない区の限界がなさない……。区内の市民団体と連携すればいいのに…。

各地の取組み

松本市：残さず食べよう！ 30・10 運動

毎月10日は捨てていた野菜の皮や茎なども料理するエコッキングの日、30日は冷蔵庫の賞味期限・消費期限をチェックする冷蔵庫クリーンアップデーとキャンペーンを行っている。

横浜市：「食べきり協力店」事業

ごはんの量の希望をとる、持ち帰りの希望にこたえる、食べ残しを減らす呼びかけを行う、啓発ポスターの掲示などの協力を求めている。

フードバンクとは

農家や食品企業の製造工程で発生する規格外品などや、まだ、食べられるのに眠っている食品を集め、それを必要としている、野宿者や生活困窮者などへの支援に役立てることを目的としている。

荒川区東日暮里 2-36-10 あうん気付ふらっとフラットでも取り扱い開始

頑張る二人のプロフィール

佐藤 駿さん

荒川区立峡田小学校、南千住第三中学校、都立忍岡高校卒、東洋大学法学部在学（1年）

小学3年生の時、車いす工場で出会った日本ボッチャ協会理事長から勧められ、ボッチャを始める。その年以降毎年、日本選手権に出場。2009年にアジアユースパラゲームス出場（東京で開催）。2013年にアジアユースパラゲームス出場（マレーシアで開催）。

ボッチャ

ヨーロッパで生まれた重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障がい者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目。

ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当たったりして、いかに近づけるかを競う。



榎本ほたるさん

荒川区立瑞光小学校、南千住第二中学校卒、埼玉栄高等学校在学（3年）

小学4年時より、荒川区スポーツセンターにて、器械体操を始める。中学時代は、器械体操で、3年間都大会に出場。中学3年の夏、器械体操のコーチの友人（日大重量挙げ部のコーチ）の紹介で、栄高等学校に体験に行き、最初は「やれるかな？」だったが、その日に決意。中3の冬から、毎週土曜日練習に行き、栄高等学校に入学。今年3月、第29回全国高等学校ウエイトリフティング競技選抜大会にて優勝。7月、第16回全国高等学校女子ウエイトリフティング競技選手権大会にて優勝。

ウエイトリフティング

ウエイトリフティングには2種目ある。

◆スナッチ

両手による引き上げ競技、地面に置いたバーベルを頭上に一気に引き上げ立ち上がる。

◆クリーン&ジャージ

両手による差し上げ競技、地面に置いたバーベルを第1動作クリーンで、肩まで引き上げ立ち上がり、第2動作ジャージで全身の反動を使い一挙動で頭上に差し上げる。

それぞれ3回ずつ試技を行い、各種目の最高挙上重量の合計で順位を決める競技である。